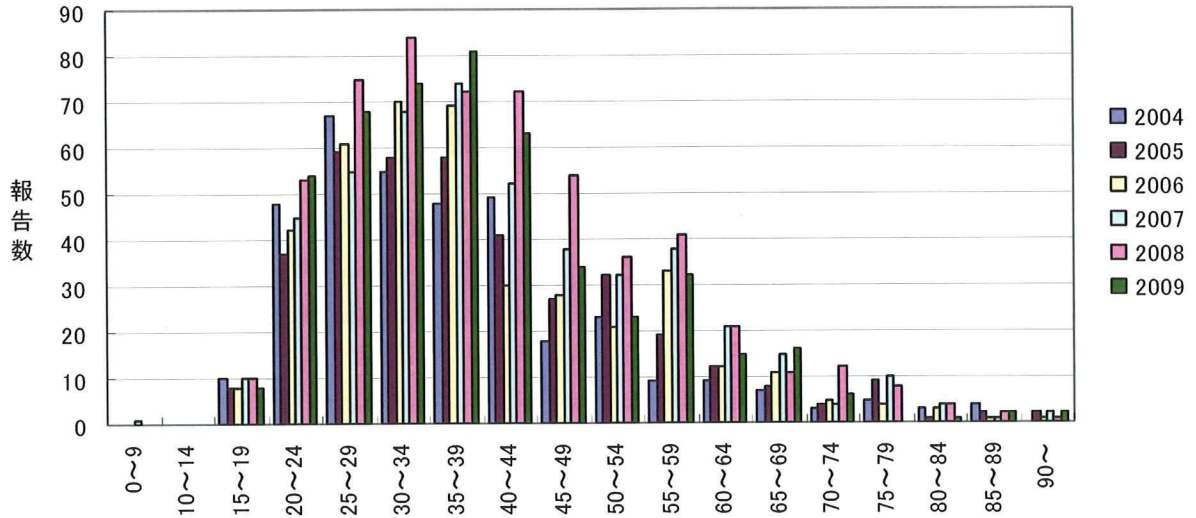
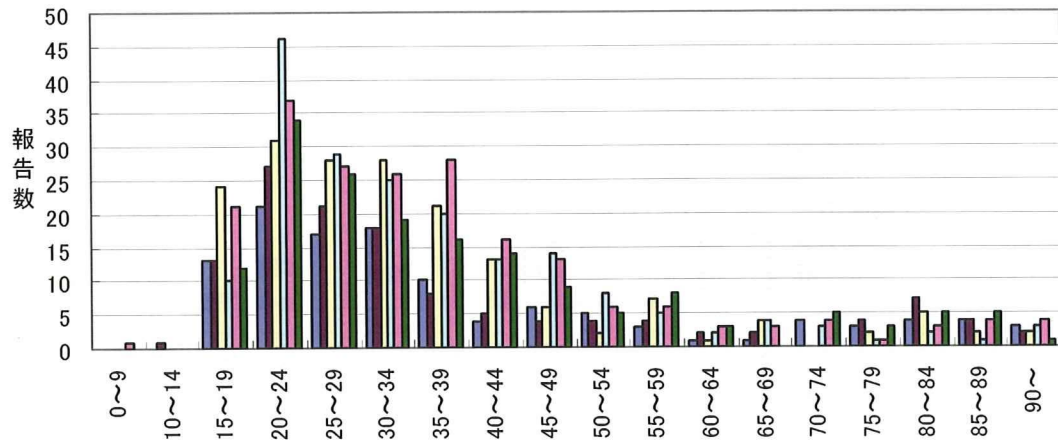


図12. 感染症発生動向調査による無症候及び早期顕症梅毒の年齢群別報告数の年次推移  
(2004～2009年)

男性



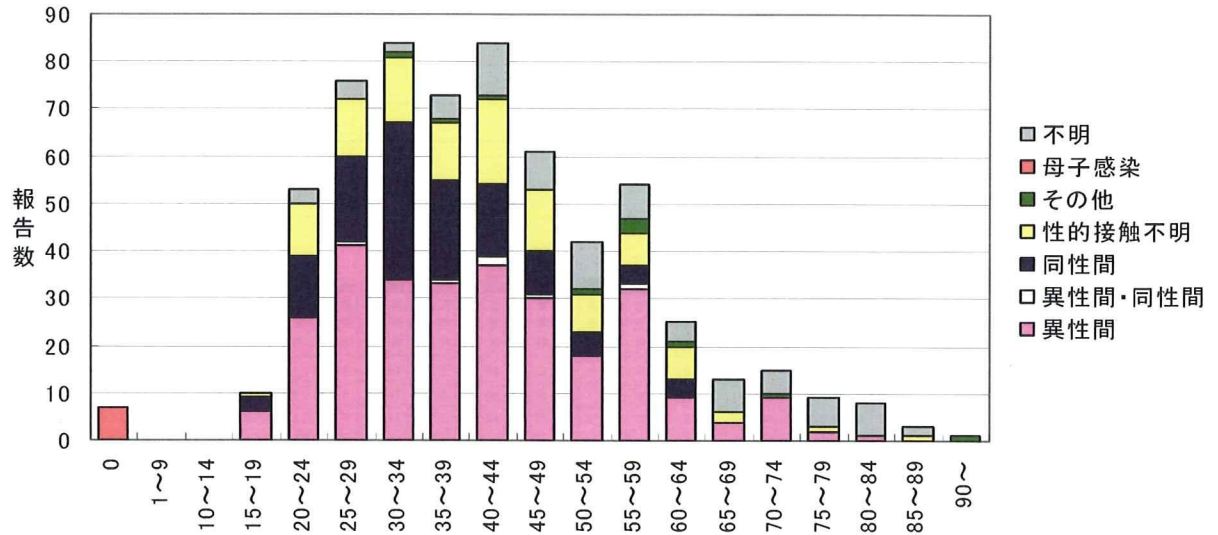
女性



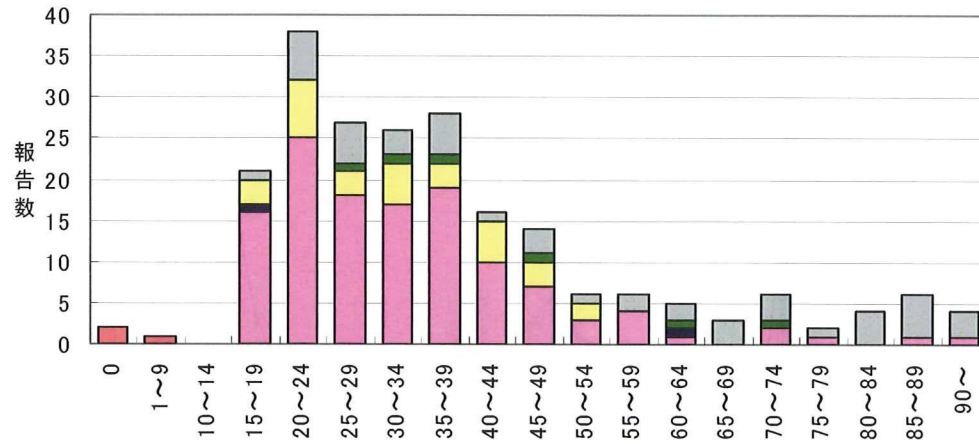
2010年2月25日現在

図13. 感染症発生動向調査による梅毒の感染経路(2008年)

男性 n=618

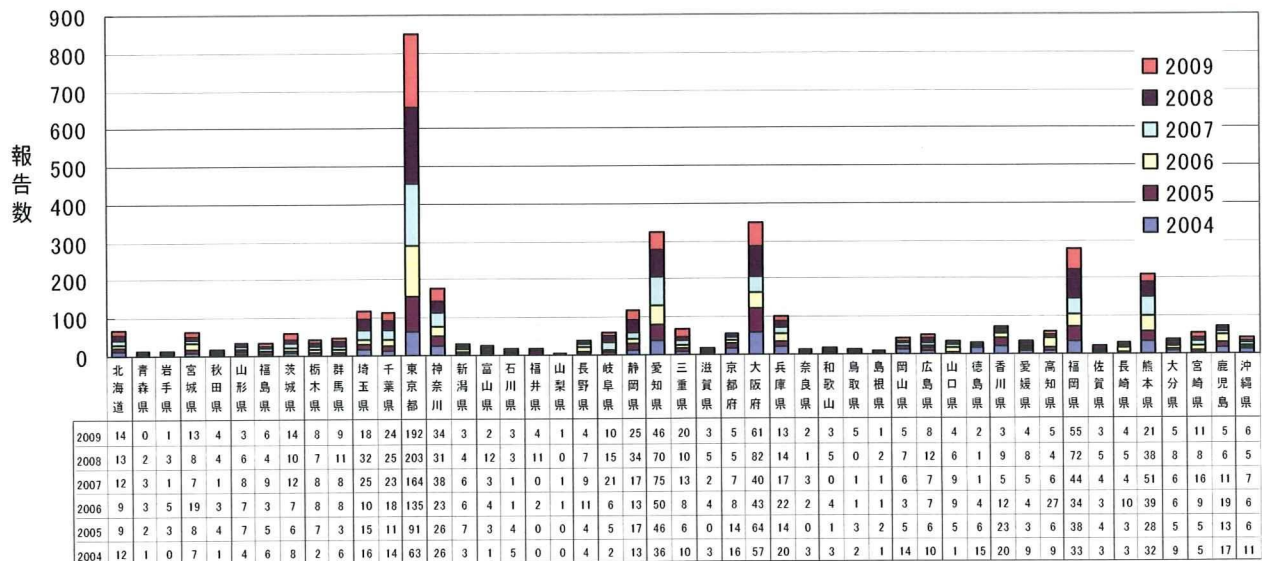


女性 n=215



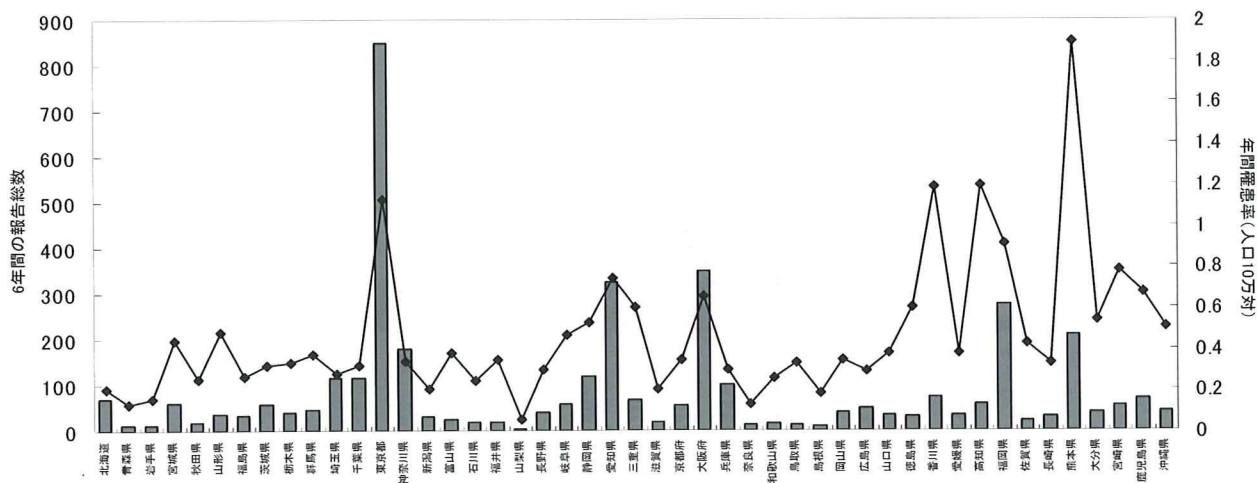
2010年2月25日現在

図14. 感染症発生動向調査による梅毒の都道府県別報告数(2004～2009年)



2010年2月25日現在

図15. 感染症発生動向調査による梅毒の都道府県別報告数と罹患率(2004～2009年)



※年間罹患率は6年間を平均し、2005年国勢調査人口により算出

2010年2月25日現在

平成21年度厚生労働科学研究費(新型インフルエンザ等新興再興感染症研究事業)

「性感染症に関する予防、治療の体系化に関する研究」

分担研究報告書「性感染症の患者数全数把握の試み:2007-2009」

分担研究者 大日康史

国立感染症研究所感染症情報センター

岡部信彦

国立感染症研究所感染症情報センター

### 要旨

目的:本研究では、性感染症の実態を把握するために全数把握を行い発生動向調査と比較する。特にこの3年間に継続的に実施した医療機関に着目する。

方法:千葉県、兵庫県、石川県、岐阜県、岩手県、茨城県、徳島県における2007年から2009年で情報を収集した。対象疾患は、梅毒、淋菌感染症、咽頭淋菌感染症、非淋菌性尿道炎、性器ヘルペスウイルス感染症(初発あるいは初感染)、性器ヘルペスウイルス感染症(再発)、尖圭コンジローマ、性器クラジミア感染症(発症者)、性器クラジミア感染症(妊婦健診)、咽頭クラジミア感染症とした。

結果と考察:3年間継続した協力医療機関のみでの分析を今回行ったが、従来の全数報告と傾向には大きな影響はなかった。7県合計では発生動向調査では単調に低下している淋菌感染症と性器ヘルペスウイルス感染症においては、全数調査並びに3年間継続協力医療機関のみにおいては男性の性器ヘルペスウイルス感染症を除いては低下していない。

- A. 目的
- 性感染症の定点把握疾患に関しては、他の定点把握疾患以上に定点選択の困難さ、その代表性が問題視されている<sup>1)</sup>。それを評価するためには実態を把握する必要がありその意味で全数把握が必要となる。本稿ではこれま
- に実施されてきた全数把握の状況<sup>2)</sup>を踏まえて、2009年度と加えた3年間について検討する。
- B. 方法
- 地域的には千葉県、兵庫県、石川県、岐阜

県、岩手県、茨城研、徳島県で、2007年から  
の3年間を分析対象とする。2007年は11月に、  
2008,9年は9月に実施した。皮膚科・泌尿器  
科・産婦人科・性病科で以下の該当疾患に対  
して全数把握を行った。対象疾患は、梅毒、淋  
菌感染症、咽頭淋菌感染症、非淋菌性尿道炎、  
性器ヘルペスウイルス感染症（初発あるいは  
初感染）、性器ヘルペスウイルス感染症（再発）、  
尖圭コンジローマ、性器クラジミア感染症（発症  
者）、性器クラジミア感染（妊婦健診）、咽頭クラ  
ジミア感染症とした。

全数把握疾患の梅毒、定点把握4疾患（淋  
菌感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭  
コンジローマ、性器クラジミア感染症）の報告基  
準は感染症発生動向調査における各疾患の  
報告基準を準用した。

評価は3年の疾患ごとの性別、年齢群別の  
人口10万対での報告件数を示す。また、発生  
動向調査に対象となっている5疾患に関して  
は、発生動向での報告数も人口10万対として  
比較する。

また、3年間一貫して協力いただいた医療機  
関のみを対象とした同様の分析を行い、参加  
医療機関の増減に関する見かけ上の変化を

除いた分析も行う。

### C. 結果

表1に3年間の各県別協力医療機関数、  
回収率及び3年間継続的に協力いただいた  
医療機関数が示されている。ここでの回収数  
は、調査票を回収したものだけではなく、  
FAX、ハガキや、電子データのための回答  
などもすべて含めて算出されている。また、  
一医療機関が重複して回答している場合  
でも、医療機関数は重複して計上していない。  
回収率は、県からの報告で、調査票そのも  
の回収率とは異なる。「-」は、県から回収  
率の報告がない場合を示す。3年間継続協  
力医療機関数は、2007年、2008年、2009  
年の3年間すべてに協力（回収）があった  
医療機関数を示す。

図1～10には疾患ごとに7県合計（3年分）  
がまとめられている。また表2～11には、年齢  
計での人口10万対の頻度を示している。

図11-1～5. ～図18-1～5. は、3年間継  
続した協力医療機関のみを集計したものと、  
全数調査、発生動向調査との比較を県別に  
また7県合計で示している。図19-1～4.  
は、4疾患における、本報告での医療機関ご  
との報告頻度の分布を示している。特に、定  
点医療機関かどうかを色で示している。

#### D. 考察

7 県合計では、3 年間継続的に協力いただいた医療機関のみと、全数調査協力医療機関の比較では、少なくとも年齢計では水準で若干の格差を認めるが、大きな傾向の差はなかった。つまり、報告患者数の多い協力医療機関は継続的に協力いただけていると考えられる。したがって、単に協力医療機関数の増減によって見かけ上患者数が増減する可能性は大きくないと推測された。また、この7 県合計では発生動向調査では単調に低下している淋菌感染症と性器ヘルペスウイルス感染症においては、全数調査並びに3 年間継続協力医療機関のみにおいては男性の性器ヘルペスウイルス感染症を除いては低下していない。

#### E. 結論

3 年間継続した協力医療機関のみでの分析を今回行ったが、従来の全数報告と傾向には大きな影響はなかった。

#### 参考文献

[1] 熊本悦明, 塚本泰司, 利部輝雄, 赤座英之, 野口昌良, 高杉豊, 守殿貞夫, 碓井亜, 香川征, 内藤誠二, 寰輪眞澄, 谷畑健生, 澤畑一樹. 日本における性感染症(STD)サーベイランス—2001 年度調査報告. 日性感染症会誌 2002 ; 13: 147-67.

[2]大日康史・岡部信彦,「性感染症の患者数全数把握の試み」,平成 18-20 年度厚生労働科学研究費(新興・再興感染症研究事業)「性感染症に関する特定感染症予防指針の推進に関する研究」分担報告書,2009.

#### F. 健康危険情報

特になし

#### G. 論文発表

特になし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

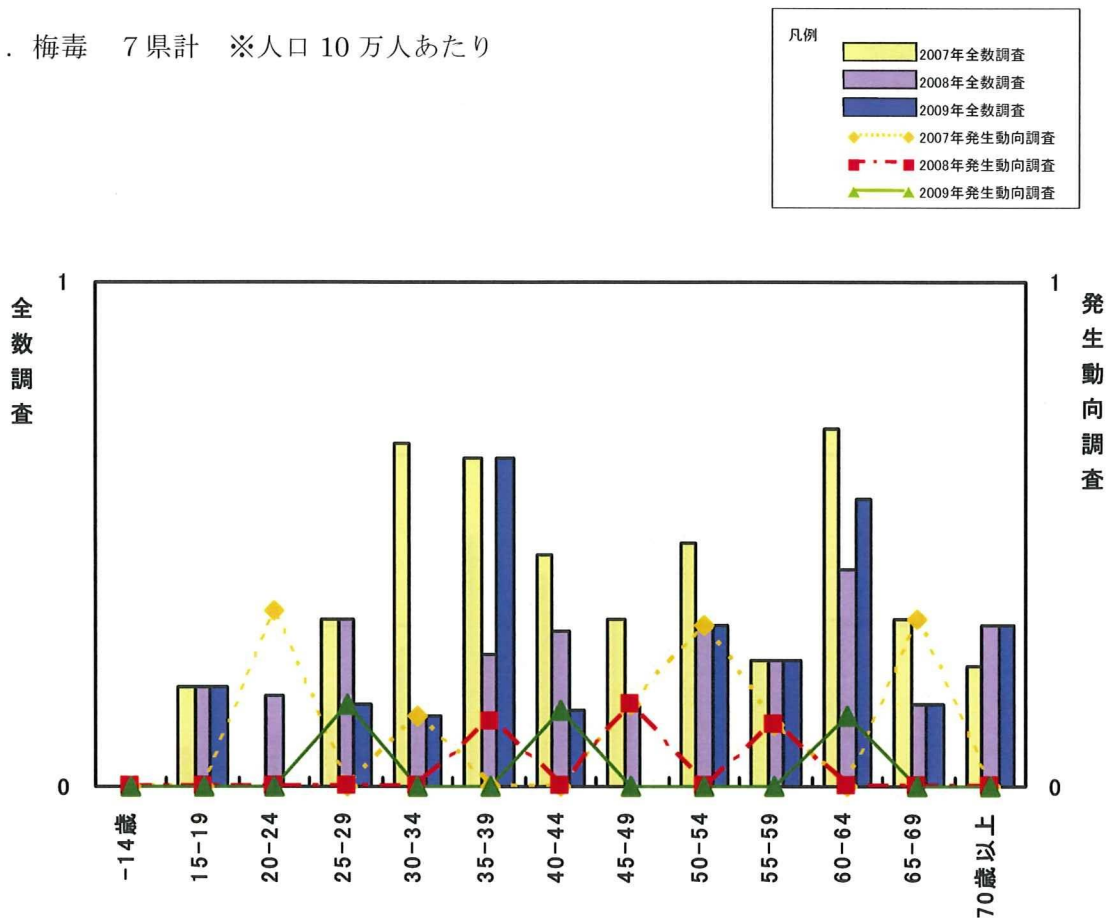
特になし

表 1. 年別 集計医療機関数

	2007年		2008年		2009年		3年間継続協力 医療機関数
	回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率	
兵庫県	492	(53.6%)	525	(59.6%)	586	(74.4%)	257
千葉県	331	(71.1%)	400	(76.5%)	512	(65.1%)	226
岐阜県	165	(47.7%)	176	(53.7%)	170	(49.3%)	94
石川県	101	(44.0%)	176	(92.9%)	163	(76.9%)	74
茨城県	434	(69.6%)	354	(58.7%)	322	-	256
岩手県	181	(79.8%)	155	(75.0%)	141	(69.3%)	106
徳島県	121	(74.2%)	115	(72.8%)	111	(74.2%)	86

図1. 梅毒 7県計 ※人口10万人あたり

男



女

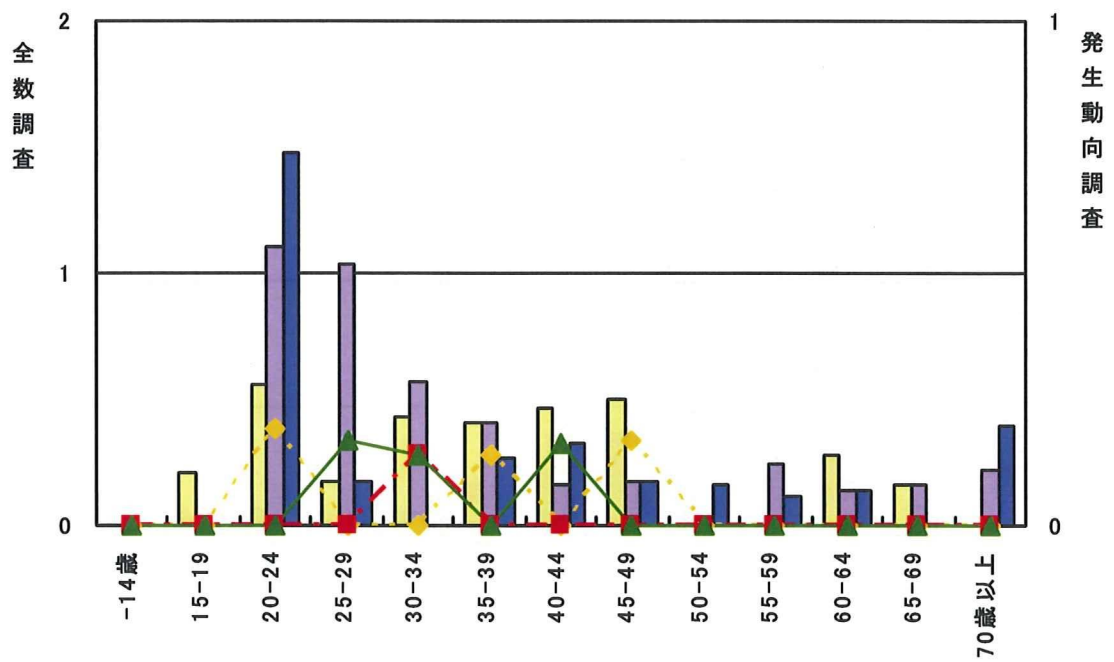
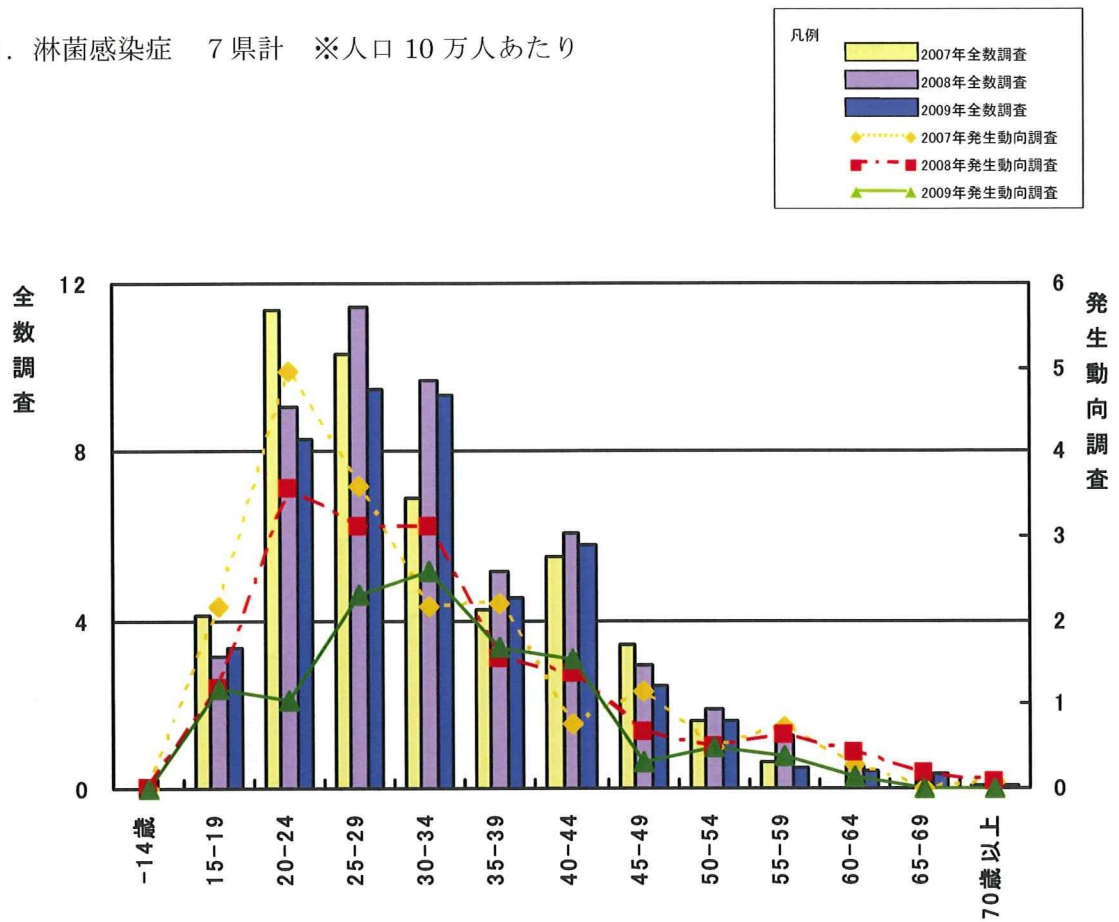




図2. 淋菌感染症 7県計 ※人口10万人あたり

男



女

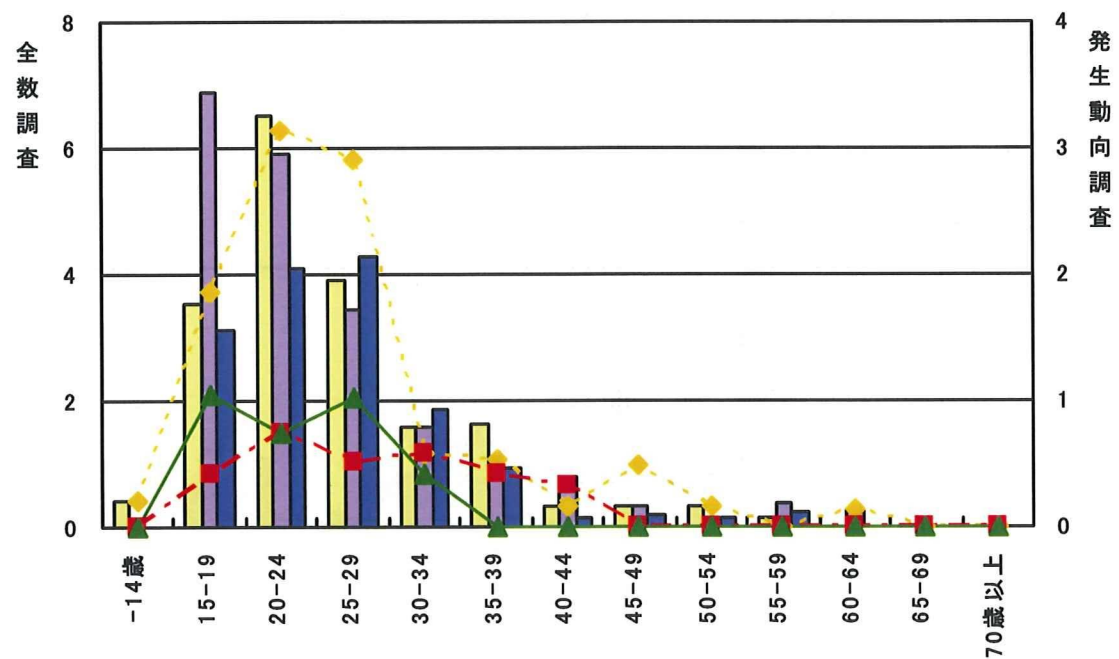
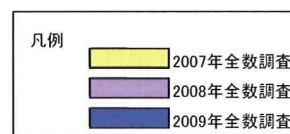
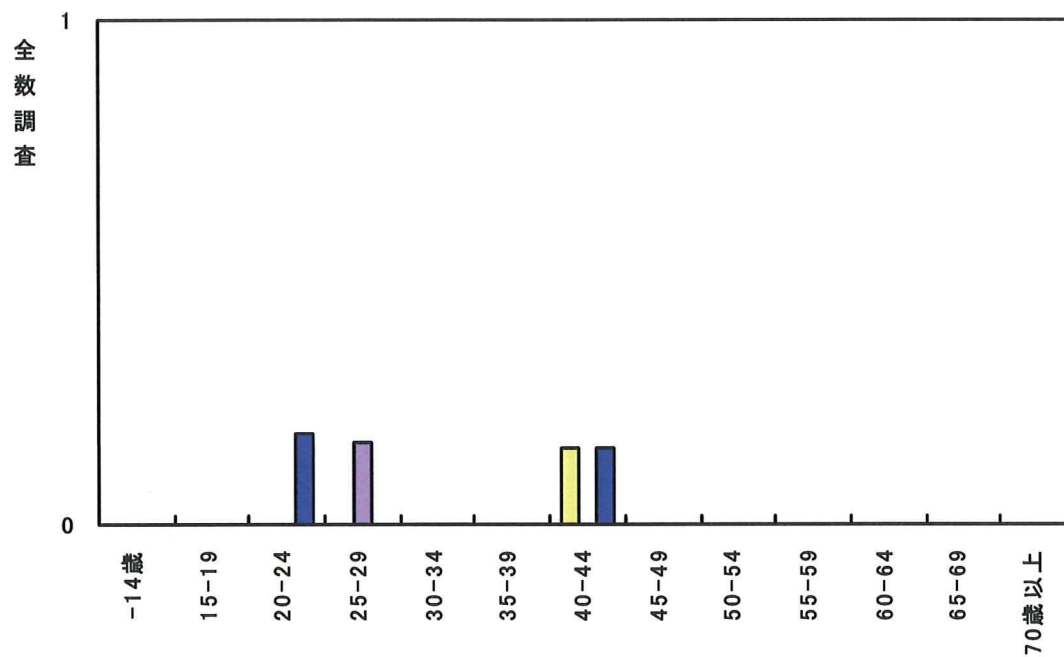


図3. 咽頭淋菌感染症 7県計 ※人口10万人あたり



男



女

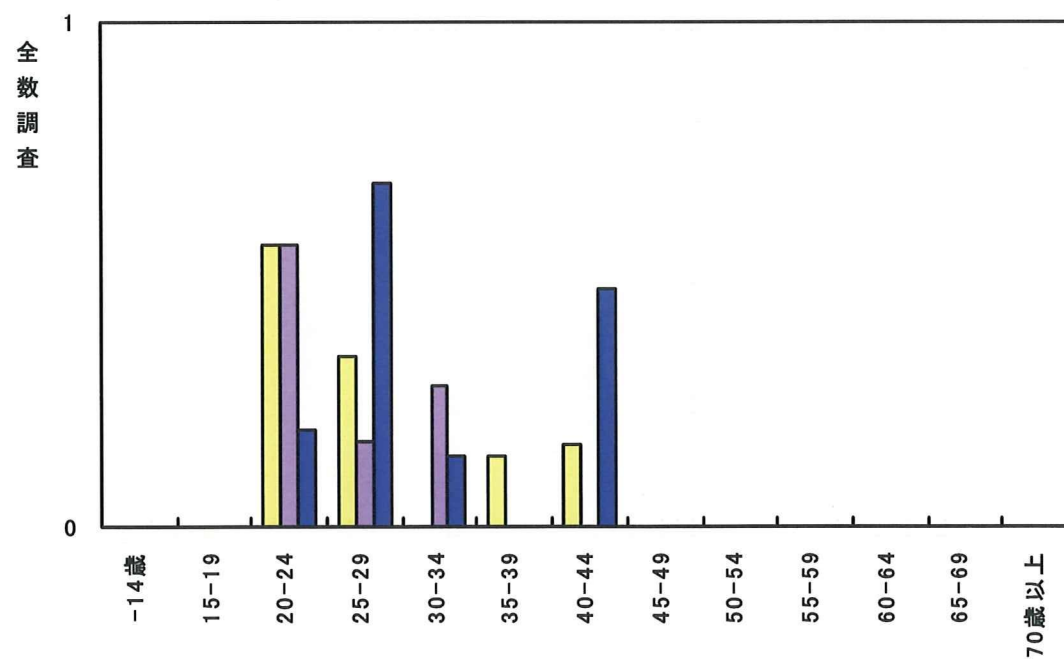
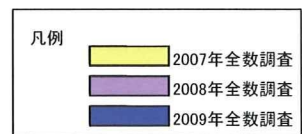
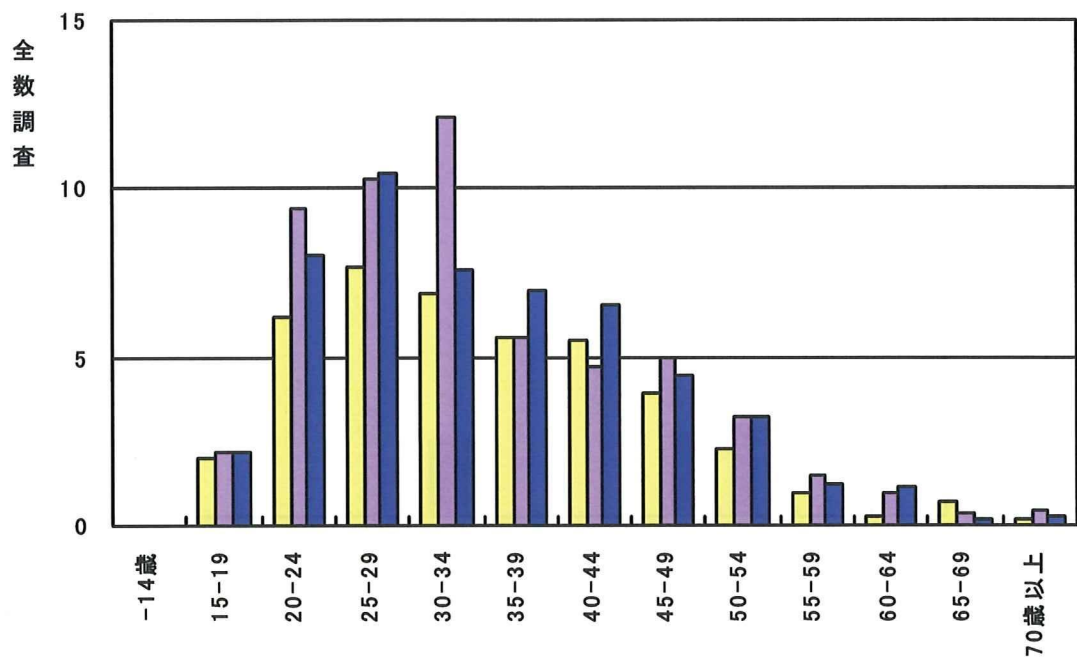


図4. 非淋菌性尿道炎 7県計 ※人口10万人あたり



男



女

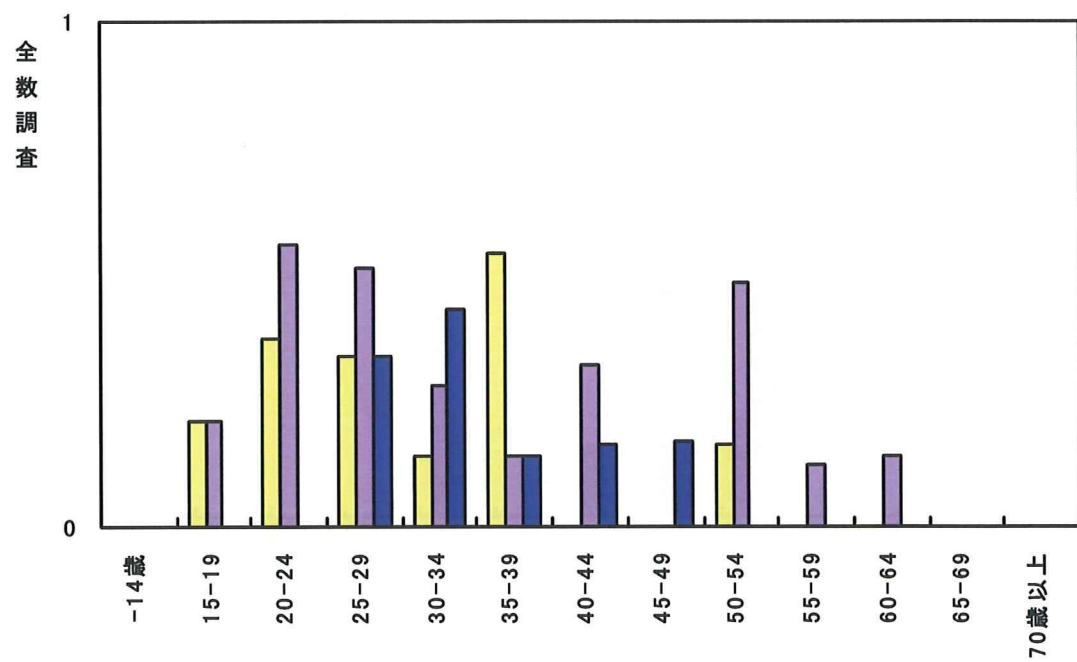
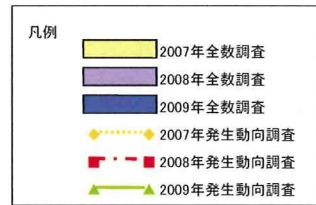
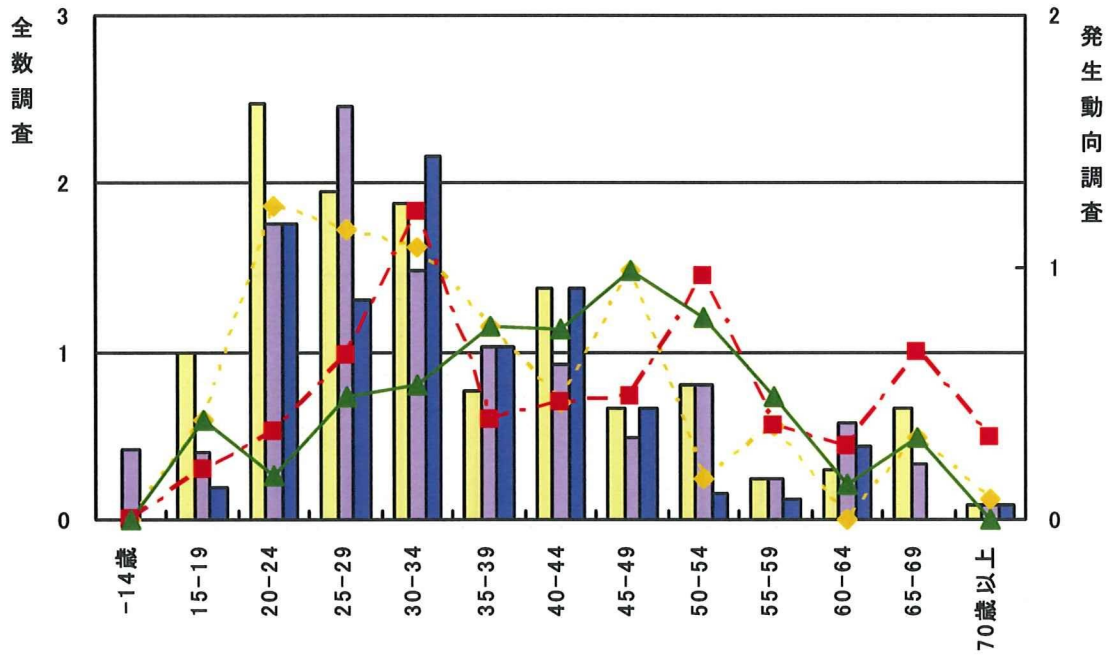


図5. 性器ヘルペスウイルス感染症（初発あるいは初感染）

7県計 ※人口10万人あたり



男



女

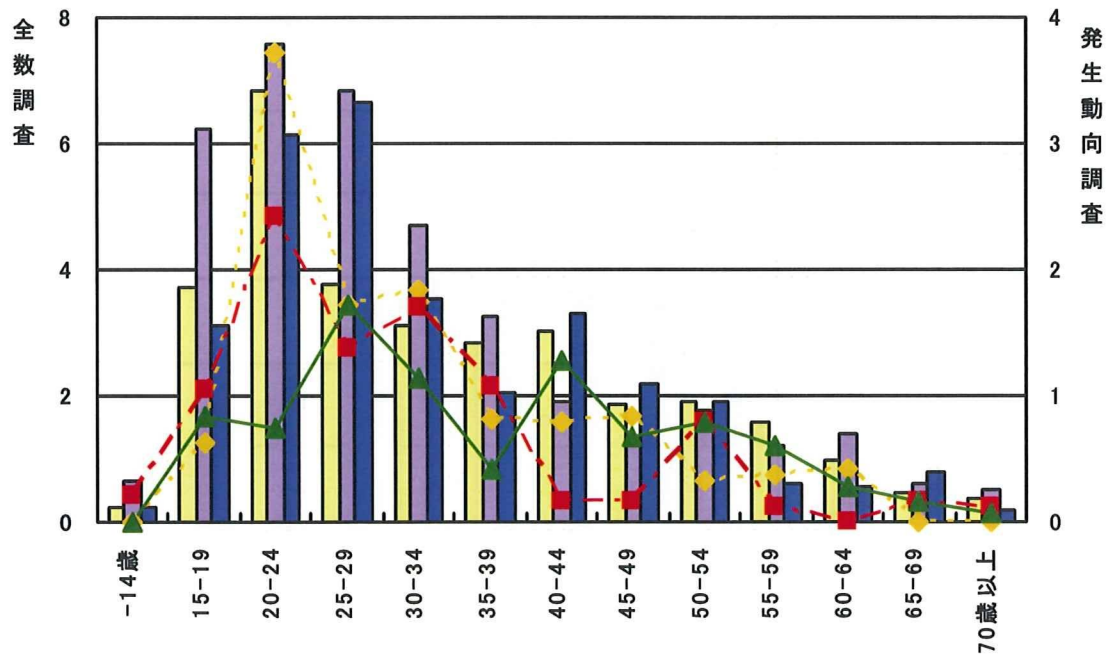
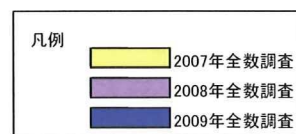
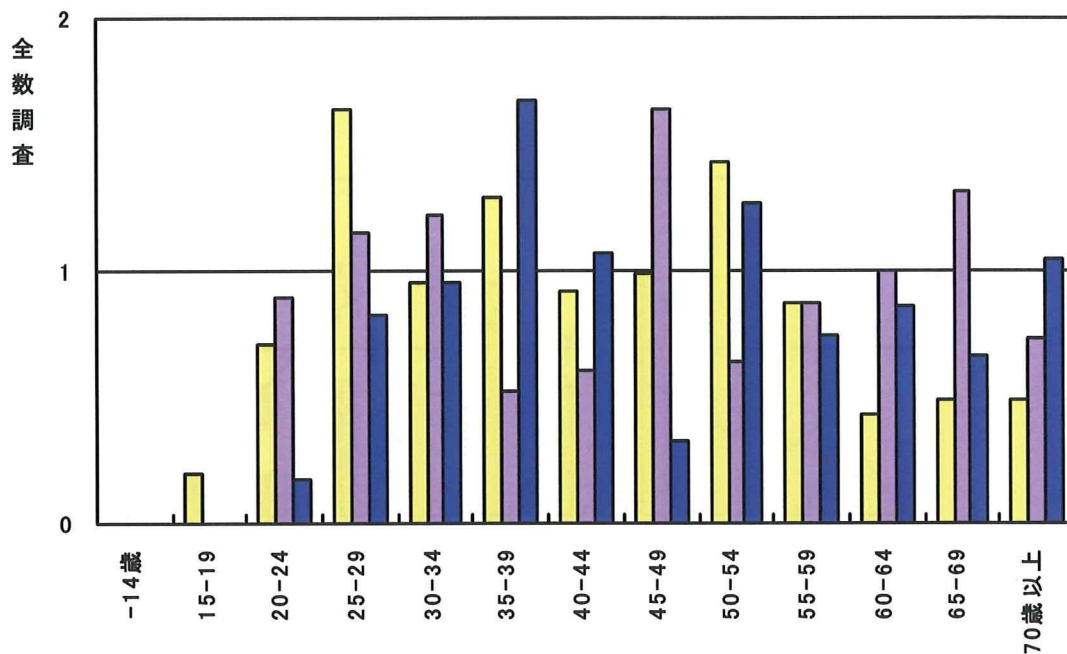


図6. 性器ヘルペスウイルス感染症（再発）

7県計 ※人口10万人あたり



男



女

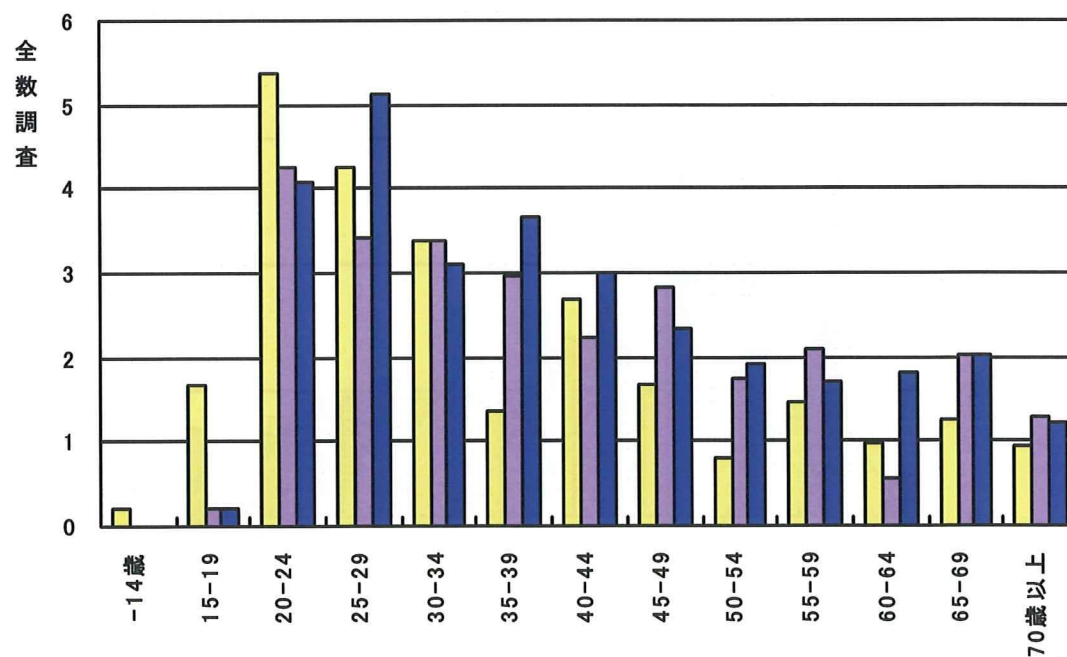
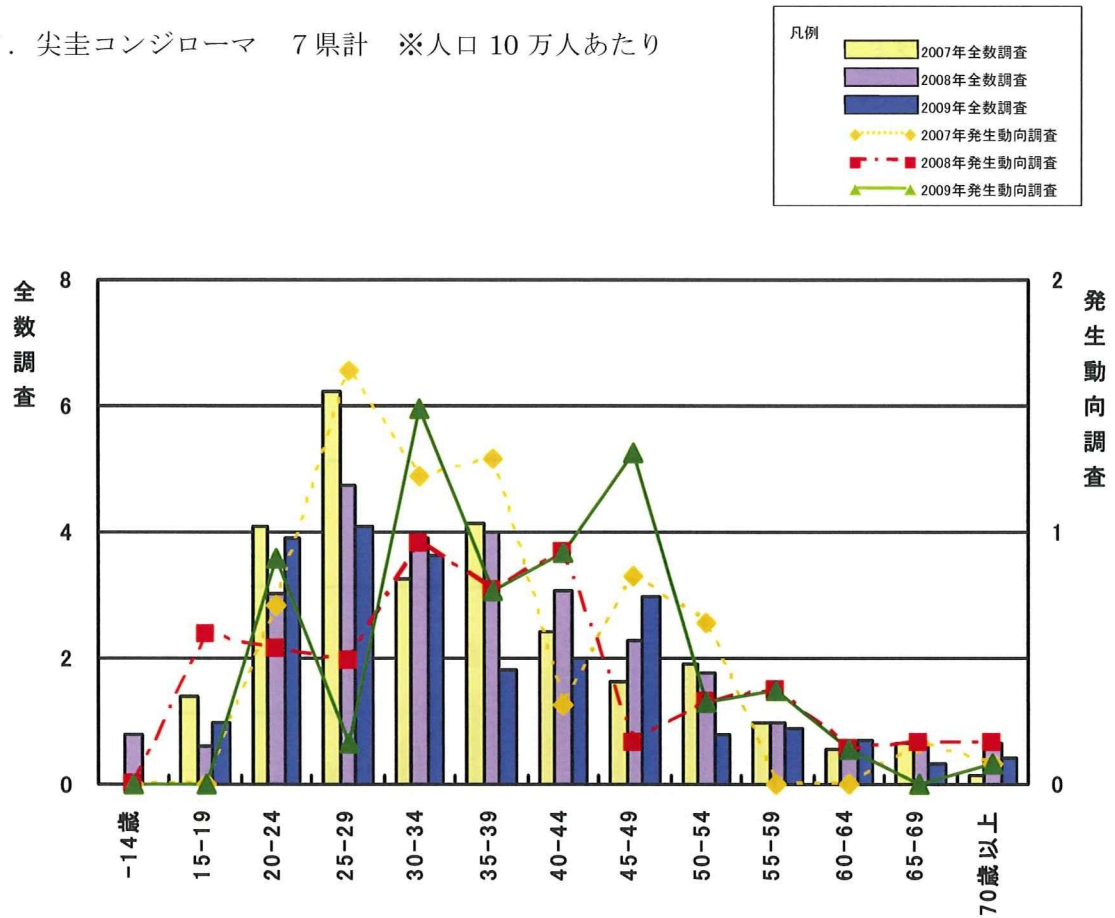


図7. 尖圭コンジローマ 7県計 ※人口10万人あたり

男



女

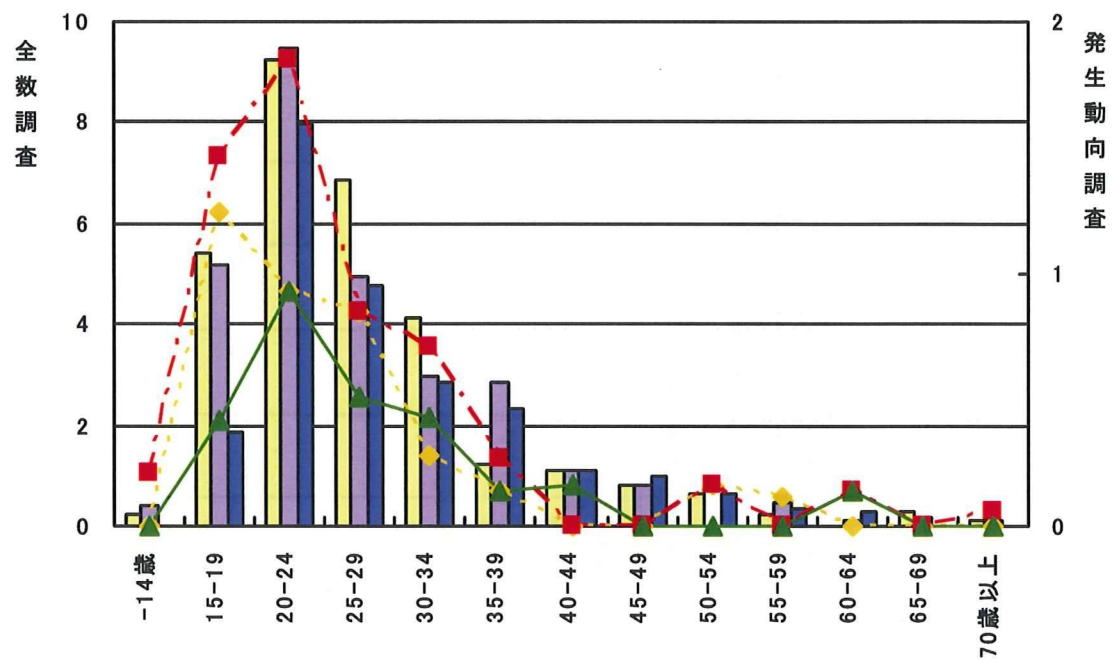
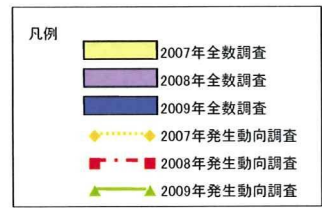


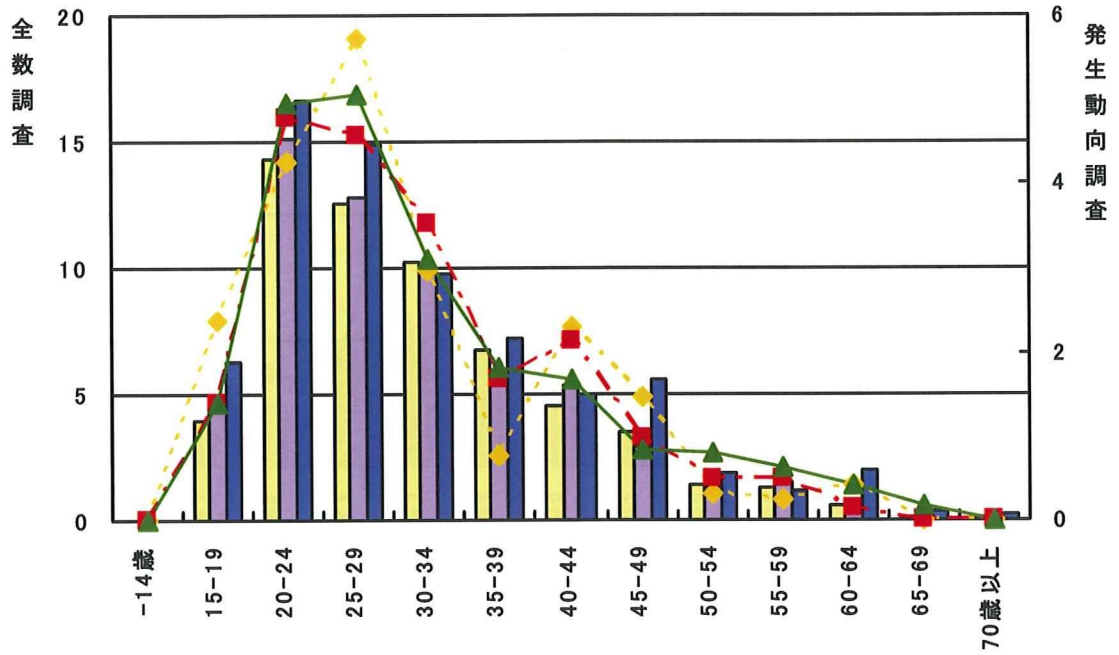


図8. 性器クラミジア感染症（発症者）7県計

※人口10万人あたり



男



女

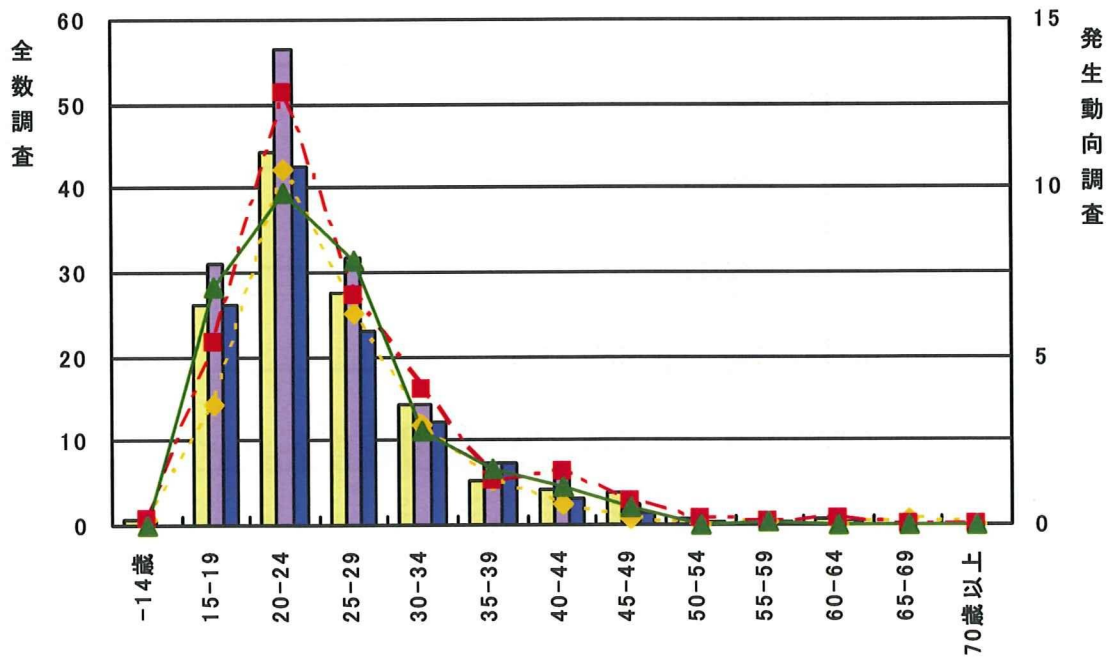
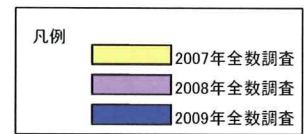
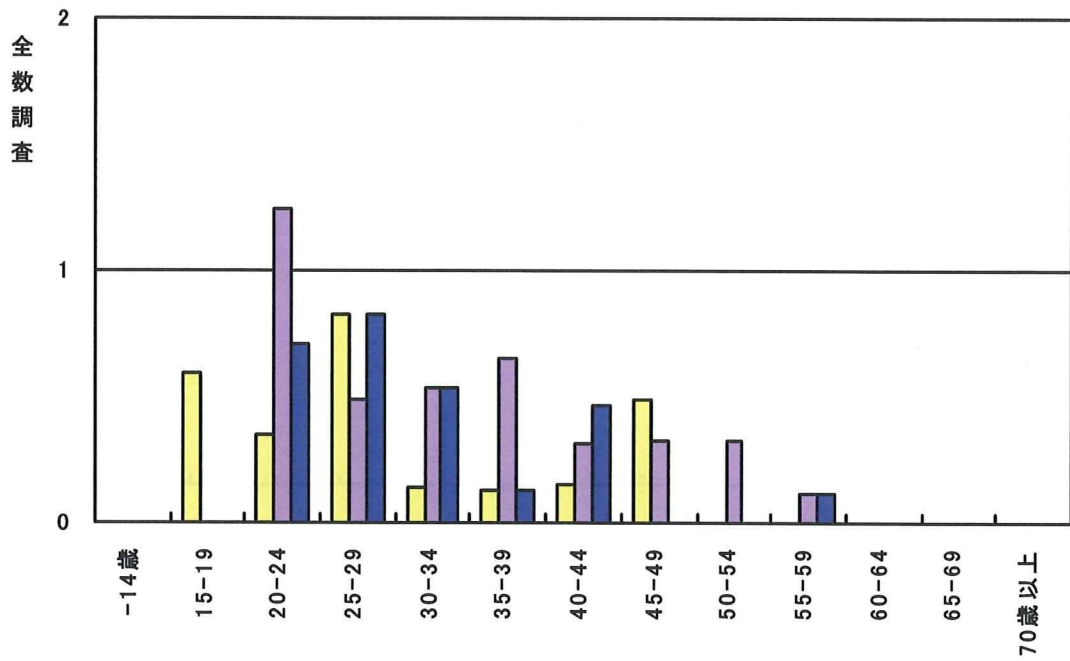


図9. 性器クラミジア感染(妊婦健診) 7県計

※人口10万人あたり



男



女

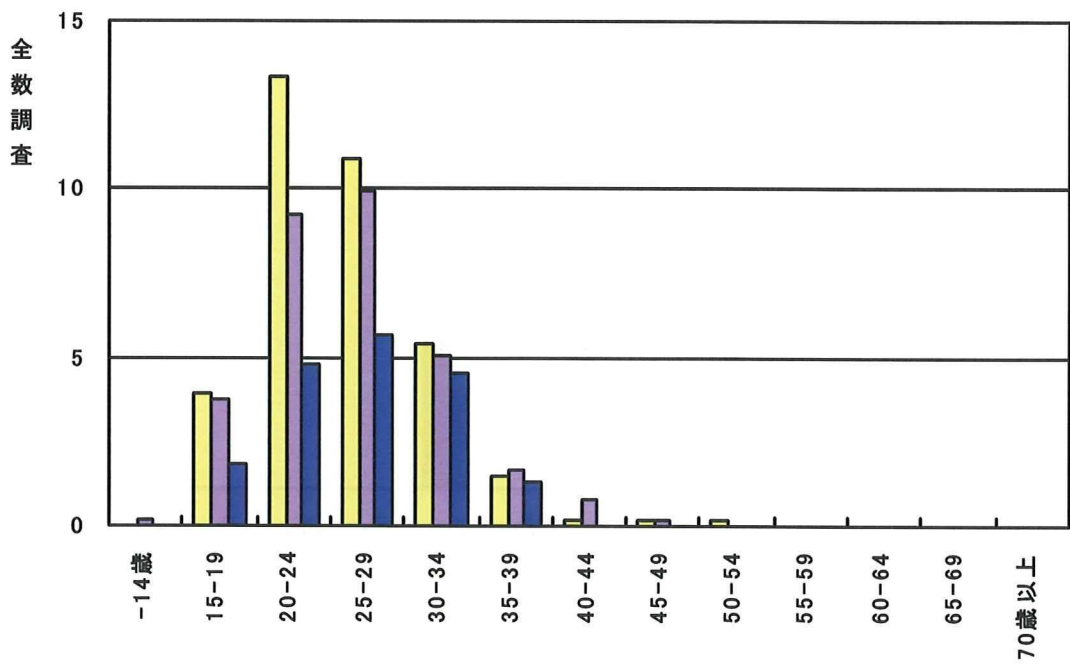
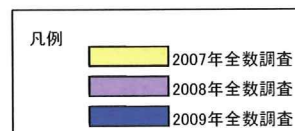
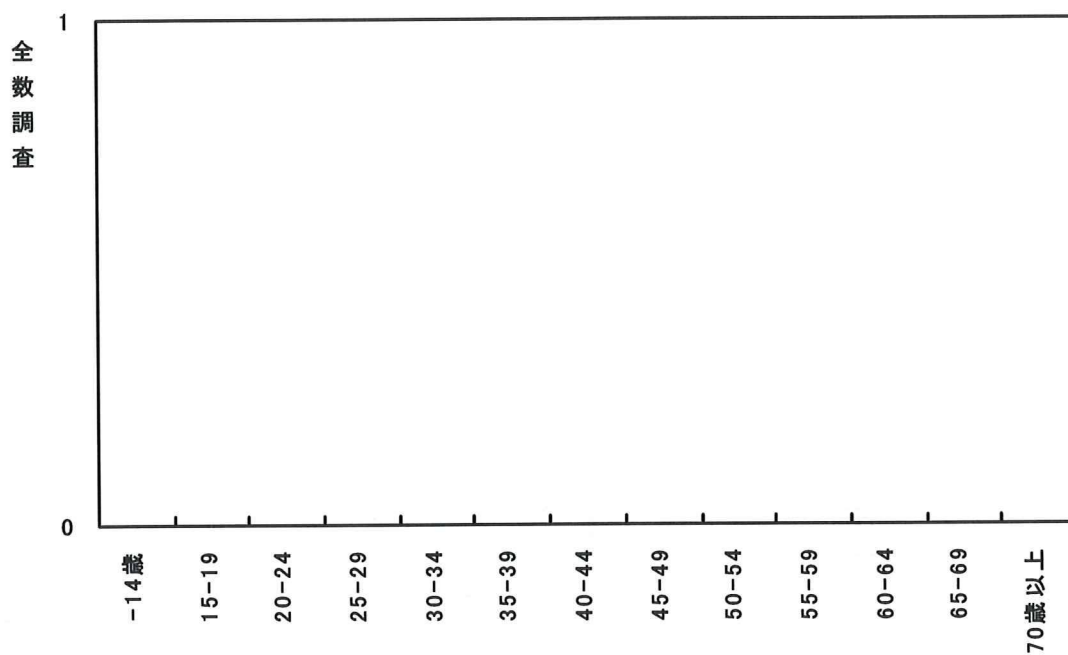




図10. 咽頭クラミジア感染症 7県計 ※人口10万人あたり



男



女

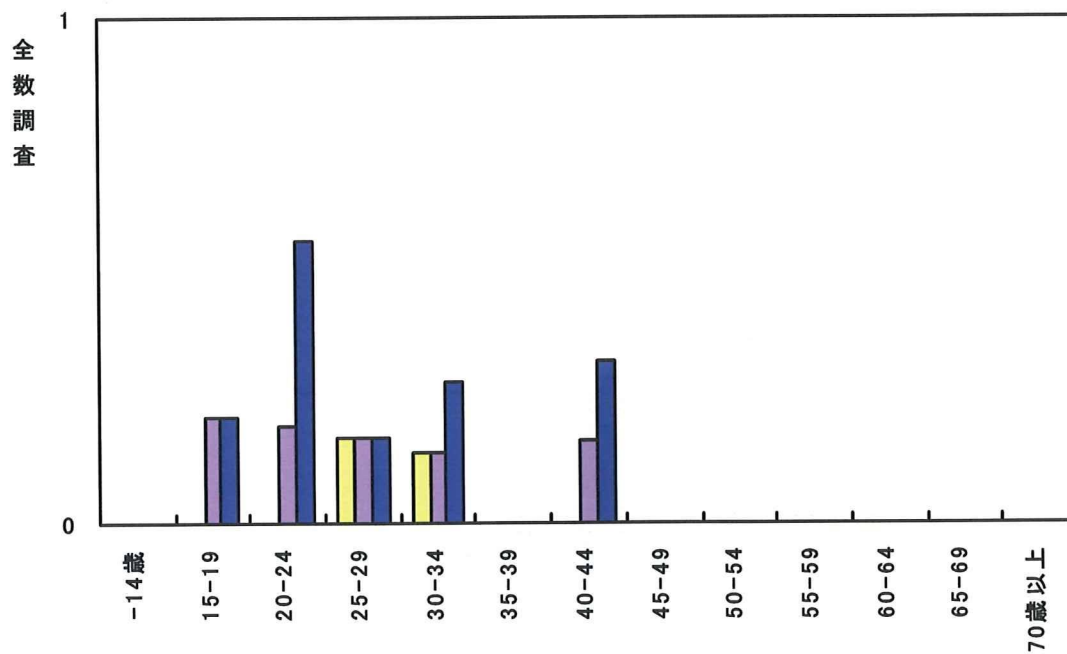


表 2. 梅毒 年齢計の発生件数 ※人口 10 万人あたり

男

地域	全数調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	0.41	0.37	0.33
千葉県	0.25	0.18	0.29
岐阜県	0.43	0.22	0.22
石川県	0.00	0.00	0.20
茨城県	0.89	0.22	0.15
岩手県	0.00	0.50	0.00
徳島県	0.00	0.00	0.28
7県計	0.37	0.25	0.25

地域	発生動向調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	0.16	0.00	0.08
千葉県	0.04	0.04	0.04
岐阜県	0.43	0.22	0.00
石川県	0.00	0.00	0.00
茨城県	0.00	0.00	0.00
岩手県	0.00	0.00	0.00
徳島県	0.00	0.00	0.00
7県計	0.10	0.03	0.03

女

地域	全数調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	0.26	0.45	0.26
千葉県	0.14	0.14	0.25
岐阜県	0.51	0.51	0.71
石川県	0.00	0.18	0.18
茨城県	0.29	0.15	0.00
岩手県	0.00	0.46	0.31
徳島県	0.00	0.51	0.00
7県計	0.21	0.31	0.26

地域	発生動向調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	0.00	0.04	0.00
千葉県	0.00	0.00	0.11
岐阜県	0.31	0.00	0.00
石川県	0.00	0.00	0.00
茨城県	0.00	0.00	0.00
岩手県	0.00	0.00	0.00
徳島県	0.00	0.00	0.00
7県計	0.03	0.01	0.03

表 3. 淋菌感染症 年齢計の発生件数 ※人口 10 万人あたり

男

地域	全数調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	3.79	4.82	4.21
千葉県	2.02	2.20	2.05
岐阜県	2.93	2.71	2.82
石川県	6.11	1.97	4.73
茨城県	3.55	3.77	4.44
岩手県	4.68	8.18	0.00
徳島県	6.55	6.55	8.54
7県計	3.41	3.76	3.35

地域	発生動向調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	1.69	1.57	0.99
千葉県	0.83	0.65	0.40
岐阜県	1.95	0.98	0.87
石川県	2.36	0.59	1.18
茨城県	0.89	0.89	0.81
岩手県	1.50	3.17	0.84
徳島県	0.85	1.99	3.42
7県計	1.32	1.19	0.86

女

地域	全数調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	0.98	1.36	0.83
千葉県	0.58	1.12	0.90
岐阜県	1.84	1.53	0.92
石川県	1.99	0.72	0.91
茨城県	1.10	0.96	0.88
岩手県	1.53	1.22	1.07
徳島県	2.83	1.80	1.80
7県計	1.14	1.22	0.93

地域	発生動向調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	1.63	0.15	0.15
千葉県	0.11	0.14	0.07
岐阜県	0.31	0.31	0.00
石川県	0.18	0.00	0.36
茨城県	0.37	0.44	0.59
岩手県	0.46	0.15	0.31
徳島県	0.00	0.00	0.00
7県計	0.62	0.19	0.19

表4. 咽頭淋菌感染症 年齢計の発生件数 ※人口10万人あたり

男

地域	全数調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	0.04	0.00	0.00
千葉県	0.00	0.00	0.00
岐阜県	0.00	0.11	0.00
石川県	0.00	0.00	0.39
茨城県	0.00	0.00	0.00
岩手県	0.00	0.00	0.00
徳島県	0.00	0.00	0.00
7県計	0.01	0.01	0.02

女

地域	全数調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	0.08	0.11	0.19
千葉県	0.07	0.00	0.07
岐阜県	0.20	0.31	0.00
石川県	0.00	0.00	0.36
茨城県	0.00	0.00	0.00
岩手県	0.00	0.00	0.00
徳島県	0.26	0.00	0.00
7県計	0.07	0.06	0.10

表5. 非淋菌性尿道炎 年齢計の発生件数 ※人口10万人あたり

男

地域	全数調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	2.72	4.16	3.34
千葉県	3.71	5.36	5.22
岐阜県	2.82	2.60	3.90
石川県	2.36	1.18	1.18
茨城県	2.96	3.62	2.59
岩手県	2.67	1.34	2.67
徳島県	3.70	8.54	6.55
7県計	3.09	4.11	3.83

女

地域	全数調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	0.15	0.08	0.00
千葉県	0.14	0.07	0.04
岐阜県	0.00	0.00	0.10
石川県	0.00	0.18	0.00
茨城県	0.00	0.00	0.00
岩手県	0.15	0.00	0.00
徳島県	0.51	3.09	1.54
7県計	0.12	0.18	0.09

表6. 性器ヘルペスウイルス感染症（初発あるいは初感染） 年齢計の発生件数

※人口10万人あたり

男

地域	全数調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	1.28	0.95	0.82
千葉県	0.61	0.72	0.40
岐阜県	0.65	0.65	0.54
石川県	0.39	0.39	1.38
茨城県	0.52	0.81	0.67
岩手県	1.67	0.50	0.67
徳島県	1.42	1.71	1.71
7県計	0.87	0.79	0.69

地域	発生動向調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	0.70	0.54	0.58
千葉県	0.54	0.58	0.36
岐阜県	0.87	0.54	0.54
石川県	0.20	0.20	0.39
茨城県	0.07	0.30	0.22
岩手県	0.17	0.17	0.33
徳島県	0.85	1.14	0.85
7県計	0.51	0.49	0.44

女

地域	全数調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	1.89	2.84	2.42
千葉県	1.95	1.77	1.44
岐阜県	1.84	2.55	1.33
石川県	2.36	4.53	3.44
茨城県	1.47	2.20	1.40
岩手県	3.21	2.91	3.06
徳島県	4.37	3.09	4.12
7県計	2.06	2.51	2.04

地域	発生動向調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	0.72	0.49	0.64
千葉県	0.51	0.58	0.43
岐阜県	0.10	0.31	0.31
石川県	0.54	0.72	0.91
茨城県	1.91	1.03	0.73
岩手県	0.92	0.92	1.07
徳島県	0.26	0.51	0.26
7県計	0.75	0.62	0.59

表7. 性器ヘルペスウイルス感染症（再発） 年齢計の発生件数 ※人口10万人あたり

男

地域	全数調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	1.03	1.20	1.28
千葉県	0.40	0.43	0.32
岐阜県	0.87	0.76	1.08
石川県	1.58	0.59	0.39
茨城県	0.81	0.52	0.81
岩手県	0.84	1.00	0.67
徳島県	1.14	2.85	1.42
7県計	0.81	0.83	0.81

女

地域	全数調査		
	2007年	2008年	2009年
兵庫県	1.85	2.65	2.95
千葉県	1.19	1.19	1.48
岐阜県	2.45	1.74	1.02
石川県	3.26	3.08	4.53
茨城県	1.76	1.32	1.40
岩手県	3.52	2.45	1.68
徳島県	3.34	4.63	6.43
7県計	1.97	2.02	2.24